

「東北地方におけるコンクリート構造物の劣化予測と LCC 評価」に関する講習会

—参加募集—

開催日：2012 年 6 月 28 日（木）

主催：公益社団法人 日本コンクリート工学会 東北支部

近年、コンクリート構造物の長寿命化に関する取り組みが盛んに行われています。その代表的なものが、各自治体で検討が進められている橋梁長寿命化修繕計画の策定です。その趣旨は、高度経済成長期に建設された橋梁の一斉老朽化時代に備え、橋梁あるいは橋梁群の将来の変状予測とコスト評価により適切な維持管理を行い、ライフサイクルコストの最小化と予算の平準化を図るというものです。しかしながら、その運用には数多くの問題が存在します。それは、コスト評価の前提となる橋梁の劣化予測手法や対策工の選定に根拠が伴わない、あるいは、自治体の予算をはるかに超えた試算結果が提示されるなどです。これらの問題の根底にはコンクリート工学や構造工学に立脚せず、単にブラックボックス化したソフトの中で機械的にコスト算出を行い、その結果を鵜呑みにし、提示していることが挙げられます。こうした結果を自治体側が受け入れて対策費用を予算化すると、良かれと思って導入した橋梁長寿命化修繕計画がむしろ自治体の財政を圧迫する要因となりかねません。

このような背景から、(社)日本コンクリート工学会東北支部では、「コンクリート構造物の LCC 評価研究委員会」（委員長：岩城一郎・日本大学教授）を発足させ、東北地方に所属する研究者、技術者、管理者が LCC 評価の問題点に対して一石を投じる思いで平成 20 年 10 月から 3 年半の長きにわたり精力的な活動を展開してきました。活動の基本は、コンクリート工学や構造工学に立脚したコンクリート構造物の劣化予測と適切な対策の選定といった工学的根拠に基づく LCC 評価手法の構築およびそれを用いた LCC 評価です。

このたび、これらの活動成果に関して、下記の要領で講習会を開催することになりました。本講習会を通じて、我が国のコンクリート構造物の劣化予測やコスト評価における現状と課題をできるだけ多くの方にご理解いただき、我が国独自の LCC 評価やアセットマネジメント手法の確立につながれば幸いです。皆様方からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。なお、これまでの委員会活動の概要に関しましては、委員会ホームページ (http://www.jci-net.or.jp/~branchi_tohoku/research/lcc/home.htm) をご参照ください。

主催：公益社団法人 日本コンクリート工学会 東北支部

後援（予定）： 国土交通省東北地方整備局、宮城県、(社)東北建設協会、
(社)建設コンサルタンツ協会 東北支部、(社)宮城県測量設計業協会、
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部、
(社)日本橋梁建設協会 東北事務所、宮城県生コンクリート工業組合、
公益社団法人 土木学会 東北支部、(社)日本建築学会 東北支部

1. 開催日時：平成 24 年 6 月 28 日（木）13:00～17:00
2. 開催場所：宮城県庁講堂（仙台市青葉区本町 3-8-1、庁舎内 2F）
3. プログラム（予定）：

- 13:00～13:10 開会挨拶
- 13:10～13:20 趣旨説明 岩城一郎（日本大学）
- 13:20～14:20 特別講演 岸 利治（東京大学）
- 14:20～14:50 コンクリート構造物の劣化予測と LCC 評価に関する現状
皆川 浩（東北大学）
- 14:50～15:20 塩害を受けた PC 道路橋の劣化予測と LCC 評価
皆川 浩（東北大学）
- 15:20～15:35 <休憩>
- 15:35～16:05 凍害を受けたコンクリート構造物の劣化予測と LCC 評価
阿波 稔（八戸工業大学）
- 16:05～16:35 凍結防止剤の影響を受ける RC 床版の劣化予測と LCC 評価
上原子晶久（弘前大学）
- 16:35～16:55 RC 造建築物を対象とした LCC 評価とその留意点
西脇智哉（東北大学）
- 16:55～17:00 閉会挨拶

4. 参加費および申し込み方法

- (1) 参加費 テキスト代（定価 3000 円）を当日受付でお支払いください。
- (2) 申込方法 委員会ホームページ (http://www.jci-net.or.jp/~branchi_tohoku/research/lcc/home.htm) に掲載してある「参加申込書」をダウンロードし、所定事項を明記の上、下記の申込先まで FAX または E-mail にてお申し込みください。
- (3) 申込先 東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 建設材料学研究室
FAX : 022-795-7429, E-mail : jci@cm.civil.tohoku.ac.jp
- (3) 申込締切 定員（250 名）に達し次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。
- (4) 備考 本講習会は宮城県に引き続き、東北各県で実施する予定です。